

1 概要

(1)「いわて県民計画(2019~2028)」の実施計画にあたる「第1期政策推進プラン(2019年度~2022年)」の10の政策分野、50の政策項目毎に、令和3年度の取組実績を踏まえ、現状における課題と今後の方向性について評価を実施。

(2)この評価に基づき「第2期政策推進プラン(2023年度~2026年度)」について検討を行い、(素案)を策定。

いわて県民計画(2019~2028)における「10の政策分野」



2 政策分野及び政策項目毎の課題と今後の方向

III 教育

18 地域に貢献する人材を育てます

【課題】人手不足が加速するとともに、環境変化や先端技術に対応できる人材が求められており、ものづくり産業を担う人材の育成・確保に取り組むことが必要

【今後の方向】小学生から企業人まで各段階に応じた人材育成と小中学校の段階から連続性のあるキャリア教育の推進と県内企業への就職促進、高等教育機関等と連携した高度技能者・技術者の育成等

IV 居住環境・コミュニティ

24 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します

【課題】社会減が続いており、少子高齢化と相まって人口減少の進行により、地域の担い手不足が懸念。より一層、移住希望者のニーズに応じた効果的なU・Iターン施策を推進することが必要

【今後の方向】ホームページやSNS、情報誌、帰省時期に合わせたUターンプロモーション等の情報発信、移住希望者等と県内企業とのマッチングの強化等によるU・Iターンの推進、市町村と連携した岩手につながる環境づくりと岩手ファンの拡大等

VI 仕事・収入

31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

【課題】人手不足が加速しており、今後需要や成長が見込まれる分野の人材育成を更に進めていくことが必要

【今後の方向】離職者等を対象としたハロートレーニングにおいて、介護・医療分野やIT分野の訓練、就職につながりやすい国家資格の取得を目指す訓練など、企業が求める人材ニーズに対応した能力開発を推進

【課題】1人あたりの年間総実労働時間は全国平均を上回っており、年次有給休暇取得率も全国平均を下回る状況であることから、労働生産性と働きやすさを高めるために働き方改革を推進することが必要

【今後の方向】「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、デジタル技術等を活用した労働生産性の向上、長時間労働の是正など、若者や女性にも魅力ある職場づくりを促進等

VI 仕事・収入

32 地域経済を支える中小企業の振興を図ります

【課題】新型コロナウイルス感染症の影響により変化した生活様式や原油・原材料等の高騰など社会経済環境の変化に的確に対応するため、新分野展開等の取組を通じた売上確保、経営の立て直しを図る取組などに対して、商工指導団体による更なる伴走型支援が必要

【今後の方向】社会経済環境の変化に対応した新分野展開、業態展開等に向け、「経営革新計画」の策定段階から、事業実施、目標達成まで中小企業者の経営革新等の取組を促進

【課題】県内企業は、経営者の高齢化が進んでおり、後継者不足などの課題に対し、事業引き受け希望者とのマッチングを含めた円滑な事業承継を進めることが必要

【今後の方向】中小企業者における親族等への事業承継や、後継候補者がいない中小企業における第三者承継について、商工指導団体と金融機関などの支援機関連携による相談対応やマッチング等事業承継の円滑化

【課題】県内企業は、経営者の高齢化が進んでおり、後継者不足などの課題に対し、早急に新たな経営人材を育成することが必要

【今後の方向】地域経済の中核を担う新たな経営人材を育成するため、商工指導団体や産業支援機関と連携して、起業マインドの醸成や経営能力の向上等の取組を推進等

33 国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業を盛んにします

【課題】自動車・半導体関連産業を中心としたものづくり産業の国際競争力を一層高め、世界的に加速するデジタル化やカーボンニュートラルなどの流れに的確に対応していくことが必要

【今後の方向】デジタル化やカーボンニュートラルへの対応など、自動車・半導体関連産業を取り巻く事業環境の変化に対応した中小企業の競争力強化の取組を支援。企業・技術・人材の一層の集積と高度化を促進

【課題】地域の特性を生かした地域経済の活性化や、若者・女性、U・Iターン者の受け皿となる雇用の創出を促進するため、より一層の企業誘致の取組が必要。産業用地の確保や従業員が働きやすい環境の整備など、より良好なビジネス環境の充実が必要

【今後の方向】企業誘致に当たっては、若者や女性等に多様な就業の場を確保するための誘致活動を展開。県北・沿岸地域においては、地域における産業競争力の強化を図るため、豊富な地域資源やインフラ整備の進展を生かした企業誘致のほか、地場企業等の生産性・技術力向上等の取組を推進等

34 地域資源を生かした魅力ある産業を盛んにします

【課題】各事業者において販路拡大のため、実店舗販売とネット販売を融合させた販路の構築が重要

伝統的工芸品などは商品の魅力を認知してもらうため、物産展など対面による催事の機会を確保していくことが必要

【今後の方向】買うなら岩手のもの、パーチャル物産展や国内大手ECモールへの出店、自社ECサイトの立ち上げ支援などのオンライン販売への進出の支援。県産品の対面販売の機会を確保するため、アンテナショップ(東京、大阪、福岡)における新商品販売イベントの開催や、首都圏をはじめとする物産展の開催

【課題】新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により国際間の人的移動が制限され、海外商談会等も中止や規模縮小となり、渡航や対面によらない商談機会の拡充が必要

【今後の方向】オンラインや海外事務所等を活用し、渡航制限に左右されない商談機会を拡充、国内外のビジネスパートナーと連携した販路の回復や新たな市場開拓等により、県内事業者の海外進出・展開を支援等

35 地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします

【課題】新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の変化や多様化する旅行者ニーズに柔軟に対応できる魅力ある観光拠点を整備するための体制を強化するとともに、広域周遊滞在型観光の促進を図り、付加価値の高い着地型旅行商品の造成等、「観光で稼ぐ」地域づくりの一層の強化を図ることが必要

【今後の方向】マーケティングデータ分析を一元化するプラットフォームの構築を進め、客観的なデータに基づいた観光需要を把握し、旅行者ニーズに対応した体験プログラムや地元の人との交流に繋がる観光コンテンツのさらなる造成・磨き上げや、三陸沿岸道路等新たな交通ネットワークを活用した長期滞在、広域周遊化を促進

【課題】大幅に減少した外国人観光客の早期回復を図るため、国内外の水際対策の状況を注視しながら、プロモーションや、外国人観光客の新たな需要に対応した商品造成や受入態勢の整備に取り組むことが必要

【今後の方向】最重点市場である台湾市場を中心としたプロモーションを展開。アドベンチャーツーリズムなど外国人観光客の新たな需要やFIT、高付加価値旅行者等に対応した商品造成や受入態勢の整備を促進等